

# 科学技術・学術審議会 人材委員会 第97回

議題 1. 産業界における博士人材の活躍についてヒアリング

鈴木蘭美 医学博士 モデルナ・ジャパン株式会社代表取締役社長



鈴木 蘭 美 (すずき らみ)

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン 医学  
博士号取得

インペリアル・カレッジ・ロンドン 腫瘍学  
分野 ポストドク研究員

平成13年 ITX コーポレーション (英国) 生命科学系ベンチャー投資ファンド責任者 コーポレートベンチャーキャピタル ライフサイエンス担当リーダー

平成16年 エーザイ・ヨーロッパ (英国) 欧州事業開発部 アソシエイトダイレクター がん領域担当 (他領域兼任)

平成18年 エーザイ株式会社事業開発がん領域 担当課長

平成26年 エーザイグローバルビジネスディベロップメントユニットプレジデント

平成28年 エーザイ株式会社事業開発担当 執行役

平成29年 ヤンセンファーマ株式会社事業開発本部長、  
メディカル事業部門本部長

令和2年 フェリングファーマ株式会社最高経営責任者兼  
代表取締役

令和3年 モデルナ・ジャパン株式会社代表取締役社長

# 博士人材として社会で必要とされる能力やスキルはどういったものだと考えているか

- 自らの意見を持ちつつも、他の人の多様な意見にも耳を傾け、自由な協議に論理的に参画できるコミュニケーション力
- 畳の上の水練ではなく、意欲的に実験や試行に取り組み学び続ける実践力（専門分において複雑な問題を解決に導き、新たな製品・サービスの開発だけでなく、革新的なイノベーションの創出にも取り組む意欲）
- 理にかなったことをコツコツと続ける忍耐力
- 長期的ビッグピクチャーを社会的課題やインパクトに対して鮮明に描ける想像力
- データを鵜呑みせず本質的に理解する判断力
- 組織や国を超えた、豊かなネットワーク
- 複雑なアイデアを、専門家・非専門家を問わず幅広い層に伝える能力。科学と一般社会をつなぎ、共感や共通認識を高めることができる
- 高い倫理観

⇒これらの能力やスキルは博士でない人材にも求められているが、博士課程を通してさらに磨かれることが期待される

博士人材が社会の幅広い分野でより活躍するために、政府、産業界、アカデミアがそれぞれ取り組むべきことは何か

- 学術的研究と実践的な応用とをつなげる産学パートナーシップのさらなる推進
- 博士課程を始める・続けるハードルを下げる（完了のハードルは高くてよい）
  - 金銭的援助
  - PhD期間延長のオプション
  - 時間のフレキシビリティ
  - 必要な資格や単位の可視化・簡素化・明確化（例：文→理、理→文）
  - 単位互換
  - オンライン
- 博士課程並びに博士課程後の留学制度
- メンターシップやキャリア開発支援の拡充
- 博士人財の理解促進に向けた小中PTAとのワークショップ
- 一般向け題材（VR、朝ドラ、漫画等）